

まちのくすりやさん 第18号

今回のおはなし

● 長引く咳

● ザ・タバコ

● Q&A



長引く咳

風邪は治ったのに咳だけは良ならない⇒風邪をきっかけに始まった咳でも、3週間以上続くようなら、別の原因を疑ったほうがいいです。

咳の原因を知るには、まず痰が出るかでないかを見極める事！

もともと咳は、痰などの異物を外に出そうとする体の防御反応。痰がよく出るなら、咳は正常に起きていることになり、痰さえなければ咳も止まりますが、鼻汁がのどの奥に下がってくる副鼻腔炎（蓄膿症）で、のどが炎症を起こしている事が多いです。抗菌薬の一種で治療しますが、禁煙で良くなることもあります。

やっかいなのは、痰が出ない「空咳」。よくある原因として「アトピー咳嗽（かいそう）」と呼ばれるアレルギー性の咳と、ぜんそくの前触れともいえる「咳ぜんそく」あり、症状で区別できませんが、アトピー咳嗽が比較的治りやすいのに対して、咳ぜんそくは、本物のぜんそくにつながる恐れがあります。「アトピー咳嗽」は、花粉症などに使う抗ヒスタミン薬で良くなることが多いのですが、一般的にぜんそくの治療に使う気管支拡張薬で良くなれば、「咳ぜんそく」が疑われます。ただ薬でよくなったからと言って治療を中断するのではなく、ぜんそくに使う吸入ステロイド薬で長期的に治療を続ける事が大切です。空咳の場合、胃酸が逆流する「胃食道逆流」が原因になることもあります。

3ヶ月ほど咳が続く百日咳。大人は自然に治りますが、赤ちゃんが菌に感染すると重症化しかねないです。（乳児は無呼吸やけいれんが主で、肺炎や脳症を起こす事もあり）若い人で咳が長引くようなら、百日咳を疑って抗体検査を試みる必要があります。診断がつけば、抗生物質で治療するとともに、マスクなどの感染予防対策も大切になります。

長引く咳には、まれにですが、結核やがんが隠れていることもあります。

<注意が必要な症状>

※鼻が詰まりやすい。鼻汁がのどの方に流れやすい⇒副鼻腔炎の疑いあり。

※アレルギー性鼻炎やアトピー性皮膚炎などがある。毎年同じ季節に悪化する。ペットを飼っている⇒「アトピー咳嗽」「咳ぜんそく」の疑いあり。

※胸やけがする⇒胃食道逆流症の疑いあり。

※倦怠（けんたい）感やだるさがある⇒結核の可能性があり。気になる症状があれば専門医を受診して下さい。

ザ・タバコ

禁煙したいと思っている皆さんへ

「禁煙外来はどんなことをするのですか？」そんな疑問にお答えします。

- ① ニコチン依存症（ND）かどうかをチェックします。
- ② 呼気中の一酸化炭素濃度を測定。
（タバコの有害成分をどのくらい取り込んでいるか調べます。）
- ③ 禁煙方法などのアドバイス
- ④ 禁煙の貼り薬が処方されます。
（保険適応の場合、3ヶ月に5回通院（標準））

例：禁煙開始から4週間⇒そのあと二週間⇒その後2週間

※バレニクリンは、新薬の為1回14日分を限度に処方されます。

（内服薬）



Q&A

Q:くすりを飲むのが苦手なので、ついコーヒーやお茶と一緒に飲んでいましたが、飲んではいけなくすりがあると聞きました。それはどのようなものがあるのですか？

A:カフェインと一緒に飲んで影響のある薬は、下記の通りです。おくすりを飲む時は、水かぬるま湯で飲むのが一番。おくすりに対する影響が少ないです。

飲んでいる薬	カフェインと一緒にの場合
消化性潰瘍治療剤	カフェインの心臓系及び中枢神経系の副作用が増強される。
習慣性中毒治療剤	カフェインの効果が長く続く。
不整脈治療剤	心拍数が減少する。
気管支拡張剤	薬の副作用が増強される。
精神神経用剤	コーヒー、紅茶の中に薬を入れると不溶性の沈殿を生じる。



一言メッセージ 今年も「まちのくすりやさん」をご愛読して頂きありがとうございました。来年も身近な話題を載せて参ります。

ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

（社）浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス yakuura@violin.ocn.ne.jp